

TOPICS

当法人理事長および病院長が10月1日付で下記のとおり就任しました

理事長 稲垣 暢也 (前 京都大学大学院医学研究科教授)

病院長 秦 大資 (前 当院副院長・小児科主任部長)

本館の改装工事が順次進んでいます

医学研究所北野病院では、2025年の法人設立100周年に向けて本館リノベーション事業を実施しています。外来フロアの混雑緩和に向けた動線整理や、より良い診療環境構築のために、工事中はご来院の皆さまにご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



移転した地域医療サービスセンターや入院受付 全室個室化された集中治療室 (ICU)

寄附者一覧(2022年7月~10月)

[法人] ジョリーメイ株式会社様 共英製鋼株式会社様 株式会社安藤忠雄建築研究所様 匿名:6社様  
[個人] 溝口千恵様 吉村育子様 松本勝治様 堀竹康正様 熊田壽恵様 松本勝治様  
中村美智子様 徳弘滋様 中條憲治様 星島弥生様 匿名:23名様

QUESTIONNAIRE

読者アンケート募集!

「きたの広報」では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しています。ご意見・ご感想は、QRコード\*を読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。皆さまの“知りたい!”にお応えできるよう精進いたします。

\*QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

ご意見・ご感想をお待ちしています



公式Twitterを  
ご覧ください



お気軽にフォロー  
してください。



[https://twitter.com/kitano\\_koho](https://twitter.com/kitano_koho)

公式Facebookを  
ご覧ください



スマートフォンから  
カンタンにアクセス  
いただけます。



LINE友達のご登録を  
お願いします



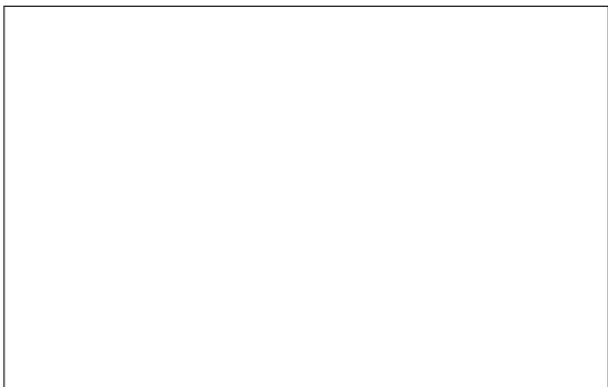
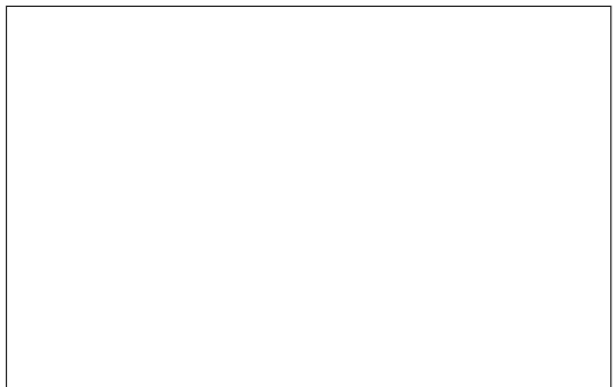
北野病院からの  
お知らせなどを配信  
させていただきます。



KITANO  
きたの広報





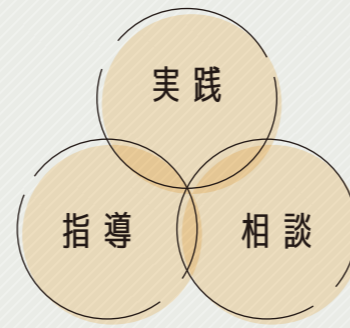


専門分野の知識・技術を活用して寄り添います

# 看護教育

科学的根拠に基づいた

安全で質の高い看護を提供できるように、  
専門的知識・技術・態度に優れた看護職を育成する



## キャリア開発ラダーに基づいた教育

看護部では、「へだてなく、よりの確に、こまやかに」という理念のもと、患者さんに安全な看護を提供できるよう努めています。教育目標のひとつに、「科学的根拠に基づいた安全で質の高い看護を提供できるように、専門的知識・技術・態度に優れた看護職を育成する」を掲げ、新人からエキスパートまで、それぞれのステップに応じてキャリアアップできるような教育プログラムを整備しています。

当院では、「北野キャリア開発ラダー」という院内教育の枠組みを導入し、スタッフの習得レベル（Ⅰ～Ⅴ）に応じて教育研修を実施しています。その中でも、新人看護職員は、看護職として必要な看護実践能力を習得できるように、1年をかけてラダー

レベルⅠの研修を受講し、基本的な看護手順に従い安全な看護を実践できるよう取り組んでいます。



この2名の教育担当看護師を中心に教育プログラムを整備しています

## みんなで育て合い、学び合う看護部



採血練習キットを用いた採血の教育

看護部では、「みんなで育てる」をモットーに、チームで教育・支援を行う教育体制をとっています。各部署では、2年目以上のすべての看護職員が新人看護職員をサポートしています。日々の業務における直接的な指導だけでなく、学習方法、悩みごと、生活のことなど広範囲にわたり支援を行っています。すべての看護職員が、ともに育て合い、学び合うことができる環境の中、看護職として成長し続けています。

*Nursing Education*

苦痛をやわらげる医療

# 緩和ケア

生命を脅かす病気のためにいろいろな問題に直面している  
患者さんやご家族を対象とし、  
身体的なつらさ・心理的なつらさ・社会的なつらさを和らげるためのケア

主治医とともに  
患者さんご家族を  
支えています。



*Palliative care*

緩和ケア医と認定看護師が訪室

緩和ケアとは生命を脅かす病気のためにいろいろな問題に直面している患者さんやご家族を対象とし、痛み・息苦しさ・だるさなどの身体的なつらさ、気持ちの落ち込みや不安などの心理的なつらさ、仕事や家族関係などの社会的なつらさを和らげるためのケアです。

当院では医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・臨床心理士・ソーシャルワーカーなどさまざまな

職種がチームを組んで活動しています。入院中は「緩和ケアチーム」がベッドサイドに訪問し、外来移行後は必要に応じて診療・面談を行い、専門的な知識と技術をもつ多職種で相談しながら入院から外来診療と継続した緩和ケアを提供し、主治医とともに患者さんご家族を支えています。コミュニケーションを通して患者さんの考えや思いを理解することは、その人らしく過ごすことを支援するための第一歩だと考えています。対話を通して患者さんやご家族の思いや希望を確認し、少しでもつらさを和らげ、その人の大切にしたいものを支えるために必要なケアや支援を一緒に考えることを心がけて活動しています。



多職種による緩和ケアチームでカンファレンス



特定の看護分野に熟練した認定看護師がサポート